

フェアプレイ  
インタビュー  
[スピードスケート]  
小平奈緒選手



プロフィール  
生年月日: 1986年5月26日  
出身地: 長野県

平昌オリンピック  
スピードスケート  
女子500m  
金メダル獲得!

フェアに戦えるように  
相手選手への心配りを忘れない

夢のオリンピック金メダル

小平奈緒選手はスケートが盛んな長野県で生まれ、2歳からスケートを始めました。そして小学5年生の時に地元で開催された長野オリンピックを間近で見て、オリンピック出場を意識し始めました。「清水宏保選手がスピードスケートで日本人初の金メダルを獲ったレースは、録画して何度も見ました。私もいつか清水選手のように、金メダルを獲りたいと思いました」



そして今年、韓国で開催された平昌オリンピックでは見事金メダルを獲得し、自身の夢を叶えました。

フェアプレーで最高の舞台に

平昌オリンピックの500m決勝でのエピソード(左のフェアプレーイストーリー参照)は注目を集めました。「オリンピックは4年かけて選手たちが練習してきたものを発揮する場所です。どの選手にとっても良い舞台でなければならぬと思います」と当時の心境を語りました。

小平選手はライバル選手を「仲間」と捉え、普段からの選手とも尊敬し合える関係を築けるように努力しているのです。「スポーツは自分ひとりでは成り立ちません。アスリートとして自分をより高められるのは、同じ競技を極めている仲間たちがいるからです」

皆の為に自分の為に

さらに、「自分の為になることは、皆の為になることでもある。また、皆の為になることは、自分の為になることもある」と心に留め、行動しているそうです。

オランダにスケート留学していた小平選手に好きなオランダ語を聞いてみたよ

**Gezellig** (ヘゼリヒ)

意味 → 居心地が良く、ほっこりするような心が温まる場所

チームメートと過ごした居心地の良い時間を思い出します。



けのひとつひとつが、小平選手のフェアプレーです。



フェアに戦おう!



2018年  
平昌オリンピック  
女子スピードスケート  
500メートルにて  
金メダルを獲得した  
小平奈緒選手



その喝采はスタートラインで準備を始めても続いていた



すると日本人の観客が興奮して大きな拍手が響いた



そんなのはダメだ!



フェアに戦おう!

後にインタビューにてこう語る

選手全員がフェアな状況で自分の力を出し切って決まるのが本物の結果だと思っています

ただ勝利を目指すのではなく他の選手への配慮を忘れないことが大切なのだ

人としても選手としても尊敬できる

金メダルを獲られて悔しいはずの他の国の人たちからも称賛された

大きな試合でも周りへの配慮を忘れない小平選手の姿は